

# 朝霞市DXロードマップ

## 基本コンセプト

「DX成功=DXが当たり前の行政運営」とし、庁内全体にDX意識とスキルが浸透した状態を目指します。

フェーズ1 2022年度～

フェーズ2 2026年度～

フェーズ3 2030年度～

基盤構築期

①展開・浸透期

②自律・統合期

成熟・進化期

目標：DX推進部門の確立と基礎整備

目標：現場主導型DXへの転換

目標：全庁自律型DXの定着

主な取組等

- ・デジタル推進課設置
- ・朝霞市行政情報デジタル化推進方針策定
- ・各部署に「デジタル化推進員」を配置
- ・AI-OCR、RPA導入
- ・キャッシュレス決済導入
- ・GIS（地理情報システム）導入
- ・自治体情報システム標準化
- ・テレワーク制度化

主な取組等

- ・デジタル推進課は「支援、助言」の役割に移行
- ・朝霞市DX推進方針策定（行政情報デジタル化推進方針の後継）
- ・全職員がDX人材として機能開始
- ・データ分析による政策立案（EBPM）実践
- ・生成AI活用
- ・フロントヤード、バックヤード改革
- ・手続のオンライン化
- ・多様な働き方促進のための環境整備

主な取組等

- ・各部署が独自にDX施策を企画、実行
- ・次期朝霞市DX推進方針策定
- ・全職員がDX人材として完全機能
- ・情報システム部門は技術的サポート
- ・各部署でのDXによる継続的な革新
- ・次世代技術の積極的な検証、活用
- ・広域連携によるシステム共同利用の推進
- ・持続可能なデジタル基盤の維持管理体制

基本コンセプト達成のためのポイント

1. 集中型から分散型への組織進化
2. 人材育成の継続実施
3. 職員が自主的に挑戦できる風土づくり
4. 技術進化や社会情勢に応じた柔軟な計画見直し